予算決算常任委員会

平成21年9月16日午前9時00分から第1会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎木田 守彦	○小林 誠	嶋田 善行
浦野 圭司	辻 善次	木澤 正男
中西 議長		

2. 理事者出席者

町 長	小城 利重	副 町 長	芳村 是
教 育 長	栗本 裕美	総 務 部 長	池田 善紀
総 務 課 長	乾 善亮	企画財政課長	西川 肇
税 務 課 長	面卷 昭男	住民生活部長	西本 喜一
福 祉 課 長	佐藤 滋生	国保医療課長	植村 俊彦
国保医療参事	寺田 良信	都市建設部長	清水 建也
建 設 課 長	加藤 保幸	上下水道部長	谷口 裕司
上 水 道 課 長	清水 孝悦	教委総務課長	野崎 一也

3. 会議の書記

議会事務局長	藤原 伸宏	同 係 長	安藤 容子
--------	-------	-------	-------

4. 審査事項

別紙の通り

開会(午前9時00分)

署名委員 辻委員、木澤委員

委員長

おはようございます。

全委員出席されておりますので、ただいまより、予算決算常任委員会を開会いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

はじめに、町長の挨拶をお受けいたします。 小城町長。

(町長挨拶)

委員長

それでは、本委員会の会議録署名委員を私より指名いたします。

署名委員に、辻委員、木澤委員のお二人をご指名いたします。両委員にはよろしく願いいたします。

本日の審査案件は、お手元に配付しておりますとおりでございますので、レジメに沿って進めてまいりたいと思います。

まずはじめに、本会議からの付託議案であります(1)議案第33号、平成21年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 西川企画財政課長。

企画財政
課長

議案第33号 平成21年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)につきましてのご説明を申し上げます。

まず、議案書を朗読させていただきます。

(議案書朗読)

企画財政
課長

本補正予算の内容につきましては、前回の委員会におきまして、ご説明させていただきました内容と同様でございますが、補正予算書によりまして、簡単にご説明をさせていただきますのでよろしく願いいたし

ます。

今回の補正につきましては、国の経済危機対策によります第一次補正予算によりまして、新たに創設されました地域活性化・経済危機対策臨時交付金や地域活性化・公共投資臨時交付金を活用するとともに、安全・安心な学校づくり交付金や新学習指導要領教材整備補助金等の国庫補助金の活用を行う補正が主なものとなっております。

恐れ入りますが、補正予算書の11ページをお開きいただけますでしょうか。まず、歳入からご説明をさせていただきます。

はじめに、第9款 地方特例交付金、第1項 地方特例交付金では、平成21年度の交付額の決定によりまして、児童手当特例交付金、減収補てん特例交付金、減税補てん特例交付金を合わせまして1,037万9千円の減額、また、第2項の特別交付金では、同じく交付額の決定によりまして32万円の増額補正をお願いするものであります。

次に12ページをお開きいただけますでしょうか。第10款 地方交付税ですが、同じく交付額の決定によりまして、1億5,940万6千円の増額補正をお願いするものであります。

次に、第14款 国庫支出金、第1項 国庫負担金では、第1目 民生費国庫負担金で、障害者介護給付・訓練等給付費の決算見込の増によりまして、自立支援給付費負担金915万5千円の増額補正を。また第2項の国庫補助金では、第1目 民生費国庫補助金で、今年度も「子育て応援特別手当」が交付されますことから、同手当交付金及び事務取扱交付金、合わせまして3,083万円の追加補正を。次に、13ページですが、第2目の衛生費国庫補助金で「女性特有のがん対策」が実施されますことから、疾病予防対策事業費等補助金627万円の追加補正を。第3目の土木費国庫補助金では、耐震改修事業のモデル事業について補助が行われ、地震ハザードマップの作成をすることから、住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金382万円の追加補正を。第4目では、教育費国庫補助金で、第1節 小学校費補助金では、校舎耐震補強工事や地上デジタル放送の受信のため、安全・安心な学校づくり交付金5,689万3千円の追加補正を。また新学習指導要領教材整備補助金の1

62万5千円の増額補正を。また学校内のICT環境の整備のため創設されました学校情報通信技術環境整備事業費補助金1,371万2千円の追加補正を、合わせまして7,223万円の補正をお願いしております。また、第2節 中学校費補助金では、小学校費と同様に、合わせまして6,440万4千円の補正を。また幼稚園費補助金では、同じく合わせまして215万7千円の補正を。次に、第4節 社会教育費補助金では、合わせまして68万9千円の追加補正をお願いしております。

次に、第5目の総務費国庫補助金では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び地域活性化・公共投資臨時交付金が交付されることから、合わせまして1億6,382万1千円の追加補正をお願いしております。

次に、14ページをお開きいただけますでしょうか。まず、第3項 国庫委託金、第1目 総務費国庫委託金では、投票人名簿システム構築交付金315万円の追加補正を、また次に、第15款 県支出金、第1項 県負担金では、第2目 民生費県負担金で、国庫負担金と同様の理由によりまして457万7千円の追加補正をお願いしております。

次に、第17款 寄附金では、ふるさと納税にご寄附があったことから、教育費寄附金23万円、福祉費寄附金105万円。また次に、15ページですが、都市計画費寄附金2万円、合わせまして130万円の増額及び追加補正をお願いしております。

次に、第19款 繰越金では、平成20年度会計の余剰金の確定によりまして、2億6,656万6千円の増額補正をお願いしております。

次に、第21款 町債では、第3目 土木債で、今年度の起債同意予定額の確定によりまして、JR法隆寺駅周辺整備事業債460万円の増額補正を、第4目 教育債では、学校校舎耐震補強工事の財源措置としまして、学校教育施設等整備事業債8,310万円の増額補正をお願いしております。

次に、16ページをお開きいただけますでしょうか。第5目 臨時財政対策債では、今年度の発行額が確定しましたことから、臨時財政対策債40万円の減額補正をお願いしております。

続きまして、歳出のご説明を申し上げます。はじめに、17ページで

すが、第1款 議会費では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用によりまして、議会棟の地上デジタル放送対策のため、備品購入費67万2千円の追加補正を。

次に、第2款 総務費、第1項 総務管理費では、第1目 一般管理費で、同交付金の活用によりまして、公用車の更新及び本庁舎等の地上デジタル放送対策のため、備品購入費等合わせまして637万4千円の追加補正をお願いしております。次に18ページをお開きいただけますでしょうか。第2目 文書広報費におきましても、同交付金の活用によりましてホームページのリニューアルを行うため、委託料460万円の追加補正を。第3目の財政管理費では、ふるさと納税のお礼のための報償費6万円の増額補正を。第6目 企画費でも、同交付金の活用により、役場会議室、北庁舎会議室のインターネット用LAN配線やマスコットキャラクター「パゴちゃん」の着ぐるみの制作及び文化振興センターの地上デジタル放送対策のため、委託料等合わせまして366万1千円の追加補正をお願いしております。

次に19ページですが、第2項 徴税费、第2目 賦課徴収費では、同交付金の活用により税務課窓口用端末の設置のため、備品購入費45万円の追加補正を。法人町民税におきまして精算還付が生じますことから、償還金利子及び割引料860万円の増額補正を。次に第4項 選挙費、第1目 選挙管理委員会費では、歳入のところで申し上げましたとおり、国民投票の投票人名簿システム構築のため、委託料として315万円の追加補正をお願いしております。

次に20ページをお開きいただけますでしょうか。第3款 民生費、第1項 社会福祉費では、第1目 社会福祉総務費で、歳入のところで申し上げました福祉費寄附金の「福祉基金」への積立金100万円を。また国民健康保険事業特別会計において、出産育児一時金等の支給額の引き上げ及び給付件数の増加によりまして、同会計への繰出金338万7千円の増額補正をお願いしております。次に、第4目 老人憩の家運営費では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用によりまして、地上デジタル放送対策のため、備品購入費149万9千円の追加補正を。

次に、第5目の医療対策費では、県費補助金の償還のため、償還金利子及び割引料294万3千円の増額補正を。次に第8目 障害福祉費では、障害者介護給付・訓練等給付費支給事業におきまして、報酬改定及び新規施設利用者増などによりまして、扶助費として1,831万1千円の増額補正を、また国庫負担金の償還のため、償還金利子及び割引料87万円の増額補正をお願いしております。次に、第9目 ふれあい交流センターいきいきの里管理運営事業費では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用によりまして、地上デジタル放送対策のため、備品購入費80万9千円の追加補正をお願いしております。次に21ページ、第2項 児童福祉費では、第1目 児童福祉総務費で、寄附金5万円の財源振替えを、第3目 保育園費及び第4目 学童保育運営費では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用により、保育園及び学童保育室の地上デジタル放送対策のため、備品購入費をそれぞれ206万5千円、84万3千円の追加補正をお願いしております。次に21ページから22ページにかけての、第5目 子育て応援特別手当支給事業費では、歳入で申し上げましたとおり、今年度も「子育て応援特別手当」が交付されますことから、負担金及び交付金等合わせまして3,083万円の追加補正をお願いしております。

次に22ページ、第4款 衛生費、第1項 保健衛生費では、第2目 感染症予防費で、新型インフルエンザ流行に備えるため、需用費等合わせまして101万5千円の増額補正を。次に22ページから23ページにかけての第4目 健康増進事業費では、歳入で申し上げましたとおり、子宮がん及び乳がん検診の充実のため、委託料等合わせまして627万円の増額補正をお願いしております。次に23ページですが、第2項 衛生費、第2目 塵芥処理費では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用により、ごみ収集車の更新及び衛生処理場の地上デジタル放送対策のため、備品購入費等合わせまして2,114万円の増額及び追加補正をお願いしております。

次に、24ページをお開きいただけますでしょうか。第6款の商工費でございます。第4目 観光会館費、第5目 歴史街道ネットワーク事

業費、第6目 法隆寺iセンター管理費、第7目 観光自動車駐車場運営費では、同交付金の活用によりまして、観光会館、法隆寺iセンターの地上デジタル放送対策、観光ルートサインの整備及び三井観光駐車場のトイレ建設のため、工事請負費等合わせまして1,872万円の追加補正をお願いしております。

次に25ページの第7款 土木費、第1項 土木管理費では、第1目 土木総務費で、同交付金の活用によりまして、公用車の更新のため、備品購入費等合わせまして480万円の追加補正をお願いしております。次に、26ページをお開きいただけますでしょうか。第3項 河川費、第2目 河川改良費では、同交付金の活用によりまして、浸水対策の調査を行いますことから、委託料として590万円の追加補正を、また、第4項 都市計画費、第1目 都市計画総務費では、同交付金の活用によりまして、公用車の更新を行うとともに、歳入で申し上げましたとおり地震ハザードマップ作成のため、委託料等合わせまして532万円の追加補正をお願いしております。次に27ページ、第7目 景観保全対策事業費では寄付金2万円の、また第8目のJR法隆寺駅周辺整備事業費では事業債460万円のそれぞれ財源振替えをお願いするものであります。

次に27ページ、第8款 消防費では、第3目 消防施設費で、同交付金の活用によりまして、消防施設の地上デジタル放送対策のため、備品購入費等合わせまして99万円の追加補正を。次に、28ページをお開きいただけますでしょうか。第5目の災害対策費では、同交付金の活用によりまして、避難所施設の充実及び災害時救助工具の整備のため、工事請負費等合わせまして1,920万円の追加補正をお願いしております。

次に第9款 教育費、第1項 教育総務費では、第2目 事務局費で、同交付金の活用によりまして、公用車の更新を行うため、備品購入費等合わせまして180万円の追加補正を、次に、29ページですが、第2項 小学校費、第1目 学校管理費では、斑鳩小学校本館東棟、斑鳩西小学校本館東棟の耐震補強工事及び斑鳩東小学校校舎耐震2次診断のため、

工事請負費等合わせまして1億80万円の追加補正を。次に、29から30ページにかけての、第2目 教育振興費では、学校内の情報ネットワーク整備や地上デジタル放送対策及び新学習指導要領に対応する理科教材の整備のため、備品購入費等合わせまして3,564万2千円の増額補正及び追加補正をお願いしております。

次に30ページをお開きいただけますでしょうか。第3項 中学校費、第1目 学校管理費では、斑鳩中学校北館西棟及び体育館の耐震補強工事のため、工事請負費等合わせまして8,100万円の追加補正を。次に、第2目の教育振興費では、小学校と同様の理由によりまして、6,782万7千円の増額補正及び追加補正をお願いしております。

次に31ページ、第4項 幼稚園費、第1目 幼稚園費では、地上デジタル放送対策工事のため、備品購入費等合わせまして679万9千円の追加補正をお願いするものであります。

次に、第5項 社会教育費、第2目 公民館費では、老朽化している設備機器の更新や施設予約システムのパソコン等整備及び地上デジタル放送対策のため、備品購入費等合わせまして647万円の追加補正をお願いしております。次に、32ページをお開きいただけますでしょうか。第4目 文化財保存費では、歳入のところで申し上げました教育費寄附金の「斑鳩の里歴史文化遺産保存・活用基金」への積立て23万円をお願いしております。

次に、第6目 図書館管理運営費では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用によりまして、いかるがホール2階の藤ノ木古墳資料室を、法隆寺・聖徳太子を中心とする歴史資料室の整備及び公用車の購入のため、備品購入費等合わせまして1,666万2千円の追加補正をお願いしております。次に33ページ、第7目（仮称）文化財活用センター管理運営費では、同交付金の活用によりまして、地上デジタル放送対策やパソコン整備のため、備品購入費175万4千円の追加補正をお願いしております。

次に、第6項 保健体育費、第4目 町民プール運営費では、同交付金の活用により、町民プールのタッチマット取替工事のため、工事請負

として200万円の追加補正を。次に34ページをお開きいただけますでしょうか。第5目 すこやか斑鳩・スポーツセンター運営費では、中央体育館のアリーナ屋根の断熱塗装や床補修及び施設予約システムのパソコン等の整備、地上デジタル放送対策のため、工事請負費等合わせまして1,838万2千円の追加補正をお願いするものであります。

最後に、第12款 予備費では、今回の補正から生じました財源3億5,277万1千円を留保することといたしております。

次に、6ページにお戻りいただきたいと思っております。第2表 繰越明許費についてであります。本補正予算では、本年度会計において予算の支出を見込めない事業がありますことから、繰越明許費としまして、観光自動車駐車場施設充実事業で1,445万円、小学校校舎耐震補強事業で1億80万円、中学校校舎耐震補強事業で8,100万円を予算計上しております。

また7ページの第3表 地方債補正についてであります。歳入のところでは申し上げました町債ですが、まず、JR法隆寺駅周辺整備事業では、460万円の増額補正を行いますことから、補正後限度額を4,630万円に。また学校教育施設等整備事業では、8,310万円の増額補正を行いますことから補正後限度額を1億380万円に。また臨時財政対策では、40万円の減額補正を行いますことから補正後限度額を4億1,500万円にそれぞれ変更するものであります。

以上、平成21年度斑鳩町一般会計補正予算（第4号）についてのご説明とさせていただきます。それでは、1ページにお戻りいただけますでしょうか。予算書を朗読させていただきます。

（ 予算書朗読 ）

企画財政
課長

以上、簡単ではございますが、議案第33号 平成21年度斑鳩町一般会計補正予算（第4号）につきましてのご説明とさせていただきます。何とぞ、温かいご審議をたまわり、原案どおりご可決いただきますようよろしくお願いいたします。以上です。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
浦野委員。

浦野委員 補正の内容いろいろ聞かせていただくと、国の緊急な経済活性化交付金の活用というのが多かったと思うんですけども、政権交代になりましたから、各地方に配る補正予算の凍結というのが新聞報道等で行われているんですけども、今、説明ありました内容におきましてはそういった影響はないのでしょうか。

企画財政課長 連日の報道では、民主党が政権発足後に補正予算の一般会計のうち、未執行分の予算執行を原則として前面停止するという方針を固めたとか、また、国の天下り法人に対する基金を原則凍結するという報道がされております。また自治体向けの基金のうち、今年度分は原則執行停止すると、そういうふうな報道がなされております。いずれにいたしましても、正式な方針は新内閣が決まらないとわからない今の状態でございまして、民主党がもし補正予算の内の景気刺激対策が薄いと判断したものを凍結する方針であるということでありまして、いろいろ事例がございますので、個々の事業について判断されるものと考えております。今のところ国においても相当混乱が生じることが予想されまして、これを受けて事業を進めるわれわれ地方自治体におきましても、相当の混乱が生じると考えております。今後の情報収集に努めまして万全の態勢をとって進めてまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

浦野委員 今、質問しました内容、危険な可能性はあるというふうに捉えたんですけども、これ例えば公用車を買ってしまうとか、地デジ対応のテレビとかアンテナも設備してしまう、そこで予算が、交付金が切られるというようなことが起こりますと、町からの持ち出しになるかと思うんですけども、そういう可能性もあるということですよ。

総務部長　今回補正を提出させていただいておりますけども、やはり今新聞報道でいろいろございます。事業の執行にあたりましては、当然ながら国の動向が決まった段階で事業執行を行ってまいりたいと思っております。そうでないと、相当一般財源をつぎ込むこととなりますので、その辺を考えまして慎重に対応していきたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

浦野委員　わかりました。もう1つお聞きしたいんですけども、例えば公用車を買う、あるいは地デジ対応のテレビやアンテナ等を購入するという際に、この前の委員会でしたか、町内業者育成のために町内業者を使って購入するというようなことは言われたと思うんですけども。その際、例えば車を買う場合、入札、数社から価格を入札してもらうとかそういうふうな買い方でしょうか。テレビにおいても同じなんですけども、どういった買い方かちょっと教えていただけますか。

企画財政課長　まず、公用車の購入につきましては、予算では10台の更新の計画をしております。購入の方法であります。特殊車輛、まずパッカー車、そういうものにつきましては、メーカーとの交渉によりまして購入をしていく考えでおります。またその他の乗用車とか、またダンプの購入もございますので、その辺につきましては入札等での購入というふうに今考えているところでございます。

委員長　他に。　木澤委員。

木澤委員　私もちょっと公用車のことで気になっていたんですけども、今課長10台で更新というふうにおっしゃいましたけども、新しく台数が増えるということはないんですね、全部買い換えっていうことで。

企画財政　現在あります公用車、購入年度で言いますと、平成3年から7年の車

課長 でございます、その更新を廃車しまして新しく購入するもので、現在10台をそのまま更新するというものではございません。

木澤委員 今、浦野委員もおっしゃいましたんで、今回そしたら新たに新車を買われるということですね、中古車ではないんですね。

企画財政 更新としまして、新車の購入を考えております。

課長

木澤委員 特殊車輛とそうじゃない車についても入札を検討されているというふうにおっしゃいましたけども、入札がされるということになると議会のほうにも入札結果というのをお知らせいただきますけども、一応全部入札で考えてるというふうに理解しておいていいですか。

企画財政 先ほど申しましたように、乗用車とかダンプにつきましては、一応入札を考えていところでございます。

木澤委員 はい、わかりました。それについてはここで。もう1点、観光案内板の設置ということで、補正予算を組んでいただいていますけども、これ内容はどういうことになっているんでしょうか。

都市建設 平成18年度から、3ヵ年計画で、平成20年度まで主にJR法隆寺駅から法隆寺周辺方面のルートサインの整備を行ってきたところでございますけども、この補正予算におきましては龍田神社でありますとか、龍田公園、三室山、吉田寺等々、西側の方面のルートのサイン整備を考えてございます。

木澤委員 部長、計画持ってやっていただいているというふうにおっしゃっていただきましたけど。今回補正で組んでいるのは国の景気対策の交付金が出たから、こうして補正で組んでいただいているというふうに理解していいんですか。

都市建設 まあ、そういうこともございます。経費の負担はそうでございますけ
部長 ども、20年度までは東側、その後については西側を考えていたところ、
ちょうどこういう方向になったんで、使わせていただくということでご
ざいます。

委員長 他に。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決
することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第33号については、当委員会とし
て満場一致で可決すべきものと決しました。

次に(2)議案第34号 平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別
会計補正予算(第3号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 植村国保医療課長。

国保医療 それでは、議案第34号 平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別
課長 会計補正予算(第3号)についてご説明申し上げます。まず議案書を朗
読いたします。

(議案書朗読)

国保医療 今回の補正につきましては、前回の本委員会でご説明いたしましたこ
課長 とと相違ございませんが、その内容につきましては、今年度の前期高齢

者交付金や、後期高齢者支援金等の確定に伴いますもの、また出産育児一時金の増額にかかります補正、あるいは介護従事者処遇改善臨時特例交付金の受け入れにかかる補正、高額療養費特別支給金の支給に关します補正などがございます。

それでは、補正予算書にもとづいてご説明申し上げたいと思います。

まず7ページ、歳入からご説明いたしたいと思います。まず第2款 国庫支出金、第1項 国庫負担金でございます。第1目 療養給付費負担金432万2千円の減額をお願いするものでございます。その内容は、第2節 後期高齢者支援金分 現年分21万3千円の増額でございます。計算上の数値の変更によるものでございます。第3節 介護納付金分 現年分につきましては941万5千円の減額をお願いするものです。介護納付金の確定に伴うものでございます。第4節 医療給付費分 過年度分につきましては488万円の増額をお願いするものでございます。平成20年度の精算によります追加交付を受けるためのものでございます。第2目 老人保健医療費拠出金負担金でございますが、554万3千円の減額をお願いするものです。老人保健拠出金の確定に伴うものでございます。

次に第2項 国庫補助金でございます。第1目 財政調整交付金 1,379万5千円の減額をお願いするものでございます。内訳といたしましては、まず第1節 医療給付費分普通財政調整交付金で1,180万9千円の減額をお願いするものでございます。老人保健拠出金の確定、計算上の数値の変更によるものでございます。次に、第2節 後期高齢者支援金分普通財政調整交付金は5万6千円の増額をお願いするものです。計算上の数値の変更によるものでございます。次に8ページでございますが、第3節 介護納付金分普通財政調整交付金は、249万2千円の減額をお願いするものでございます。介護納付金の確定に伴うものでございます。さらに第6節 高額療養費特別支給金でございますが、45万円の追加をお願いするものでございます。

この高額療養費特別支給金につきましては、平成20年4月から12月の間に75歳に到達しまして、国民健康保険から後期高齢者医療制度

に移行した人などで、その75歳到達月につきまして、高額医療費の自己負担限度額が半額になったとして計算したときに、差額が発生した場合に支給する特別支給金でございます。この財源につきましては、全額国庫負担となりますことから、これを受け入れるために本節を新設するものでございます。

次に、第3目の出産育児一時金補助金でございます。52万円の増額をお願いするものでございます。この補助金は、平成21年10月から1年半の間に出産した場合の出産育児一時金が4万円引上げとなることにつきましての、その引上げ分の2分の1を国が負担するというもので、これを受け入れるためのものでございます。

次に、第4款 前期高齢者交付金、第1項 前期高齢者交付金、第1目 前期高齢者交付金でございます。1億3,214万2千円の増額をお願いするものでございます。今年度の同交付金の概算交付額の確定に伴うものでございます。

9ページでございます。第5款 県支出金、第2項 県補助金、第1目 財政調整交付金でございます。1,107万9千円の減額をお願いするものでございます。内訳といたしましては、第1節 医療給付費分普通財政調整交付金が918万4千円の減額、第2節の後期高齢者支援分普通財政調整交付金が4万4千円の増額、第3節の介護納付金分普通財政調整交付金が193万9千円の減額でございます。いずれも国庫の財政調整交付金と同様の理由によるものでございます。

次に、第8款 繰入金、第1項 他会計繰入金、第1目 一般会計繰入金でございます。第3節の出産育児一時金繰入金といたしまして338万7千円の増額をお願いするものでございます。出産育児一時金の増額に伴う一般会計の繰入れの増額でございます。

続きまして10ページでございます。第10款 諸収入、第2項 雑入でございます。まず、下段の第8目の介護従事者処遇改善特例交付金をご説明いたしたいと思っております。209万4千円の追加でございます。この交付金は、平成21年度の介護報酬改定によりまして、介護従事者の処遇改善を図ることとしつつ、それに伴います介護保険料、国民健康

保険で申しますと、国民健康保険税の介護分にあたりますが、その急激な上昇の抑制等を行うことを目的とした国費の投入でございます。国民健康保険連合会で基金を設けまして、そこから市町村の国民健康保険に分配されるものでございます。

続きまして、上段の第7目 歳入欠かん補填収入でございますが1億4,469万5千円の減額をお願いするものでございます。歳出の前年度繰上充用金の補正額と同額の329万5千円と、今回の補正におきまして歳入が歳出を上回ることとなりますので、その差額といたしまして1億4,140万円を減額するというので、合わせて1億4,469万5千円の減額をお願いするものでございます。

それでは続きまして歳出をご説明いたします。11ページをご覧くださいと思います。第2款の保険給付費でございます。第1項 療養諸費でございます。第1目の一般被保険者療養給付費と、第3目 一般被保険者療養費でございます。さらに下段の第2項の高額療養費、第1目の一般被保険者高額療養費、この3目につきましては、国・県の財政調整交付金、また前期高齢者交付金に補正がありましたことから、財源内訳を変更したものでございまして、予算の増減はございません。

続きまして12ページでございます。第4項の出産育児諸費でございます。第1目の出産育児一時金につきましては560万円の増額をお願いするものでございます。国の緊急の少子化対策といたしまして、平成21年10月から1年半の間に出産した場合の出産育児一時金の額が4万円引き上げることとなりました。これにつきましては、所要の改正条例案を今議会に提出しているところでございます。また出生数の増加が見込まれることによりますことから増額をお願いするものでございます。

次に第2目の支払手数料でございます。8千円の追加をお願いするものでございます。従前現金給付でありました出産育児一時金が、平成20年10月から、1年半に限りではございますが、通常の療養給付と同様に、分娩機関からの請求に基づいて支払う方法に変更することになりました。このことから、支払委託機関であります国民健康保険団体連合会に対し手数料を支払う必要が生じることになったということによるも

のでございます。

次に13ページでございます。第3款 後期高齢者支援金等、第1項 後期高齢者支援金等、第1目 後期高齢者支援金でございます。76万7千円の減額をお願いするものでございます。平成21年度の後期高齢者支援金の額が確定したことによるものでございます。

次に第5款 老人保健拠出金、第1項 老人保健拠出金でございます。まず第1目の老人保健医療費拠出金であります。1,630万2千円の減額をお願いするものです。また、第2目 老人保健事務費拠出金につきましては61万5千円の減額をお願いするものでございます。いずれも、平成21年度の老人保健拠出金の額の確定によるものでございます。

続きまして14ページでございます。第6款 介護納付金、第1項 介護納付金、第1目 介護納付金でございます。2,769万3千円を減額をお願いするものです。平成21年度の介護納付金の額が確定したことによるものでございます。

次に第10款 諸支出金、第1項 償還金及び還付加算金でございます。第2目 退職被保険者等償還金につきましては76万4千円の増額をお願いするものでございます。平成20年度で超過交付となりました、退職被保険者に係ります療養給付費等交付金を精算し、返還するものでございます。次に第9目の高額療養費特別支給金でございます。45万円の追加をお願いするものでございます。歳入で説明いたしました高額療養費特別支給金でございます。

15ページでございます。第11款 予備費、第1項 予備費、第1目 予備費でございます。前回の補正予算で予備費を充用いたしましたことから、当初予算額に戻したいと考えまして、55万9千円の増額をお願いするものでございます。

最後に、第12款 前年度繰上充用金、第1項 前年度繰上充用金、第1目 前年度繰上充用金でございます。329万5千円の減額をお願いするものでございます。前年度繰上充用の執行額と予算額との差額を減額するものでございます。

それでは1ページにお戻りいただきたいと思います。朗読させていた

だきたいと思います。

(予算書朗読)

国保医療課長 以上で、平成21年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）についての説明とさせていただきます。よろしくご審議いただきまして、原案どおりご承認賜りますようお願い申し上げます。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 12ページですね、出産育児一時金のところで出産件数の増加というふうに課長、説明していただいていたんですけども。これ予算の時、何人見込んで、補正で何人増やしているという形になるんですか。

国保医療課長 当初予算では30人を見込ませていただきました。今回の補正では42人を見込ませていただいております。

木澤委員 そしたら実際に、町内で出産の件数は増えているというふうに見えていんですかね。

国保医療課長 今回のこの補正につきましては、国民健康保険の出産一時金に関するものでございますので、今保健センターのほうに妊娠をしたという旨の届をされた方の中で、国民健康保険に加入されている方の状況を勘案する中で、来年3月末までに42人おられるだろうというふうに推測して予算計上させていただいたものでございます。ただ、昨年もですね、平成20年度も46件というふうに多い人数でしたが、その前の3年間につきましてはだいたい平均で28人程度、30人に満たないという状況でございました。この状況につきましては、必ずしも本町の国保以外の方も含めた出生数が著しく増加しているということが言えるわけでもあ

りませんし、また、この出産する世代の方が新たに社会保険から国民健康保険に加入されたというような状況もございませんで、今のところ、こういう国保の人数が増えてきているということにつきましては、大きな傾向があるというふうには見出していないというのが状況でございます。

委員長 よろしいですか。他に。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第34号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に(3)議案第35号 平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。佐藤福祉課長。

福祉課長 それでは、議案第35号 平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について、ご説明させていただきます。

まず始めに議案書を朗読させていただきます。

(議案書朗読)

福祉課長 今回の補正につきまして、前回の委員会で説明させていただきました内容と同じでございます。概要について説明させていただきます。

まず、補正予算書の4ページをお開きいただきたいと思います。

まず初めに、歳入でございます。第9款 繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金におきまして平成20年度決算の確定に伴い、歳入金額のほうが多かったため、その差額につきまして平成21年度に繰り越すことになり、繰越金額分2,397万8千円の増額補正をお願いするものでございます

次に5ページの歳出のほうでございます。第3款 基金積立金、第1項 基金積立金、第1目 介護保険給付費準備基金積立金では、1,454万7千円を増額するもので、平成20年度決算の確定に伴い、繰越額から償還金等を差し引きました余剰金を、介護保険給付費準備基金へ積立するための増額補正をお願いするものでございます。次に、第5款 諸支出金、第1項 償還金及び還付加算金、第1目 第1号被保険者保険料還付金では139万5千円を増額するもので、平成20年度分の保険料還付未済金として第1号被保険者保険料還付金が確定したことに伴い償還金、利子及び割引料の増額補正をお願いするものでございます。次に6ページをお願いいたします。第2目 償還金では803万6千円を増額するもので、平成20年度において、給付実績に対する法令で定める割合以上の介護給付費国庫負担金等を国、県から受け入れており、翌年度精算として平成21年度にこの超過交付額を返還することから、償還金利子及び割引料の増額補正をお願いするものでございます。

次に補正予算書の1ページにお戻りいただきたいと思います。

朗読いたします。

(予算書朗読)

福祉課長 以上で、議案第35号 平成21年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)についてのご説明とさせていただきます。

ご審議いただき、原案どおりご承認賜りますようお願いいたします。以上です。

委員長

説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。

(な し)

委員長

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。よって議案第35号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、(4)議案第36号 平成21年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 植村国保医療課長。

国保医療
課長

それでは、議案第36号 平成21年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてご説明申し上げます。

まず議案書を朗読いたします。

(議案書朗読)

国保医療
課長

今回の補正の主な内容については、前回の本委員会でご説明したものと相違ございません。平成20年度会計の出納整理期間中に収入いたしました保険料について、平成21年度に繰り越しをし、広域連合の方へ支出するための補正でございます。

それでは具体的にご説明申し上げます。まず歳入からご説明いたします。予算書の4ページをお開きいただきたいと思います。第5款 繰越金、第1項 繰越金、第1目 繰越金でございます。104万6千円を増額をお願いするものです。前年度繰越金といたしまして、出納整理期

間中に収入しました保険料でございます。

次に5ページの歳出をご説明いたします。第2款 後期高齢者医療広域連合納付金、第1項 後期高齢者医療広域連合納付金、第1目 後期高齢者医療広域連合納付金でございます。104万6千円を増額をお願いするものでございます。繰り越しました保険料を広域連合に支出するものでございまして、歳入と同額でございます。

それでは1ページにお戻りいただきたいと思っております。朗読します。

(予算書朗読)

国保医療課長 以上で、平成21年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についての説明とさせていただきます。よろしくご審議をいただきまして、原案どおりご承認賜りますようお願い申し上げます。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 私、ちょっとわからないので教えていただきたいんですけども。出納期間中に入ってくる保険料っていうのはどういうものなんですか。

国保医療課長 平成20年度中に調定額をあげました分、今回で言いますと、平成20年度に賦課をいたしました保険料でございます。その中で納期限までに、年度内に納められず、4月、5月に納められたという保険料でございます。4月、5月は役場の会計の出納整理期間ですので、いったん賦課した保険料については、歳入をさせてもらうことができますので、今回それを平成20年度で一旦歳入させてらっています。

ただ、広域連合への支出につきましては、4月、5月に入ってきた保険料につきましては、支出負担行為を平成21年度でおこさないと広域連合へ支出することができませんので、今回20年度分の保険料を21年度に繰越しをさせていただいたということでございます。

木澤委員 20年度中に払えなかった人が遅れてっていうんですかね、そういう形で入ってきているのかなというふうに思うんですけども。この104万6千円、これが20年度で払えなかった分の滞納でてましたよね。あれで、この期間で全部払っていただけてるのか、まだそうじゃない方がいらっしゃるのか。

国保医療課長 平成20年度の決算額の中には、この104万6千円も含めて決算をさせていただいております。その上で決算の時に未収額をお示ししたと思いますが、その分が5月末時点で、いわゆる未納になっているという状況でございます。

木澤委員 ちょっともう1点だけお尋ねしたいんですけども、それはそれで理解させてもらいますけども。今、国民健康保険税なんかでは、滞納者に対して、特に悪質な方が多いんでしょうけども、差押えなんかもやってますよね、後期高齢者の保険料については今後どうなっていくんでしょうか。

国保医療課長 まず、後期高齢者医療の保険料の滞納されている方につきましてはですね、そのペナルティといたしましては、いわゆる保険証、後期高齢者の保険証が通常は1年の有効期間なんですけども、それを短縮した保険証をまず発行させていただきます。その上で、さらに滞納されている方で悪質な場合につきましては、健康保険を発行せずにですね、資格証を発行していくということになっております。最終的に、徴収は私どもの町の責任で行うこととなりますけども、賦課は広域連合が行っておりますので、資格証発行以降もさらに滞納された悪質な方への対応につきましては現在のところはまだ検討中ということでございます。

委員長 よろしいですか。他に。

(な し)

委員長

ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。
お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。よって議案第36号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、(5) 議案第37号 平成21年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

理事者の説明を求めます。 清水上水道課長。

上水道課
長

それでは、議案第37号 平成21年度 斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)について、ご説明いたします。

まず、議案書の朗読をさせていただきます。

(議案書朗読)

上水道課
長

今回の補正につきましては、前回委員会でご説明いたしましたとおり、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等、事業要望によります地上デジタル放送対策といたしまして、テレビの購入及び上水道庁舎のアンテナ工事にかかります増額補正をお願いするものであります。

それでは、内容につきまして補正予算書の実施計画書によりご説明いたします。まず、補正予算書の3ページをお願いいたします。

収益的収入で、第1款 水道事業収益、第2項 営業外収益、第3目 雑収益で60万6千円の増額補正でございます。これは上水道庁舎地上デジタル放送対策への支援でございます。

収益的支出で第1款 水道事業費用、第1項 営業費用、第4目

総係費におきまして60万6千円の増額補正を行うものでございます。

その内容といたしまして、テレビ購入及びアンテナ工事費用でございます。それでは1ページにお戻りください。

朗読をもちましてご説明とさせていただきます。

(予算書朗読)

上水道課長 以上、議案第37号 平成21年度 斑鳩町水道事業会計補正予算(第2号)についてのご説明とさせていただきます。何とぞ原案どおりご承認賜りますようお願いいたします。

委員長 説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。

(な し)

委員長 ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第37号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、2. その他についてを議題といたします。

まずはじめに、補正予算が見込まれるものなど、理事者からの報告しておくことはございませんか。 乾総務課長。

総務課長 その他から1点ご報告をさせていただきます。

去る7月11日の午前9時ごろでございますけれども、目安2丁目3番先の県道大和高田・斑鳩線の歩道の草刈作業を町職員で行っていまし

たところ、草刈機がはねました小石が県道を通行しておりました車の助手席側の後部の窓ガラスを直撃いたしまして、破損させてしまいました。幸い運転されていた方につきましてはケガはございませんでしたけども、今回この損害に対しまして、町が加入しております全国町村会総合賠償補償保険を適用いたしまして、窓ガラスの修理代、約3万円程度でございますけれども、賠償したいと考えております。

なお、相手方の車の所有者の方と、示談書を取り交わすことができましたならば、損害賠償の額の決定並びに一般会計の補正予算につきまして、議決をいただきたいと考えておりますけれども、示談を取り交わす時期によりましては、専決処分に対応させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。以上でございます。

委員長 　ただ今の報告について、質疑、ご意見があればお受けいたします。
浦野委員。

浦野委員 　道路端を草刈機回す場合、よく草刈機を操作する人間の横に、例えばそういう砂利とかが飛ばないようにパネルとか、コンパネですか、あてながらやっている風景も見るとは思いますが、そういう処置はされなかったんですか。

総務課長 　今回、町職員でやっておったということもございまして、ちょっと安全対策を怠っておったということもございまして、次回こういう草刈り機を使用する場合、こういった小石が飛ぶような状況の場所を草刈りする場合にはそういった対策を講じていきたいと考えております。

委員長 　よろしいですか。　中西議長。

議 長 　今の草刈りですねんけども、これからも町職員でやっていこうと思っ
てはんのか、ちょっとそのへん。

総務課長 町の職員で今、ボランティア清掃ということでやらせていただいているんですけども、年8回ぐらいはさせていただいているんですけども。河川の草刈り、あるいはごみのポイ捨ての関係の処理とかですね、その他の環境美化活動ということでさせていただいておりますので、手で刈れるところは手で取れるんですけども、草が繁茂しているところについては、草刈機を使用しなければ刈れないという状況のところは草刈機を使用してやっていきたいと考えております。

議長 今、相手の方は車だけですんでよかったですねんけども、もしそれが人であったりとか、また作業中の職員であった場合、やっぱりいろんな問題おこってくると思うんですね。その辺はどのように考えてますか。

総務部長 今、議長言われましたように、そういう懸念も考えられます。そういう懸念も考えられる中で、昨今やはり河川、道路等の草については相当町のほうにもご要望があります。当然このご要望個所は、町道でもありますし、また県道路、県河川等もありますけども、そのご要望の中に応えるために、一応ボランティアということ、または勤務時間にやっている箇所もございますけども、今日までそういうことでできておりました。ただ今、議長が言われるようにそういう懸念もありますんで、それらを踏まえた中でやはりいろいろ検討していく、草刈りをする場所も今後相当増えてまいると考えておりますんで、いろいろ総合的に考えていきたいとは考えています。

委員長 他に。理事者のほうからございませんか。

(な し)

委員長 そしたら委員の方から、何かその他について。

(な し)

委員長

ないようですので、その他についてもこれをもって終了いたします。
なお、お手元に配布しております閉会中の継続審査申出書のとおり、
当委員会として、引き続き調査を要するものとして、このように決する
ことにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。議長におかれましては、継続審査の手続きをと
っていただきますようお願いいたします。

これをもって、本日の案件についてはすべて終了いたしました。

なお、本日の委員会報告のまとめについては、正副委員長にご一任い
ただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。

それでは、閉会にあたり町長の挨拶をお受けします。

(町長挨拶)

委員長

これもちまして本日の予算決算常任委員会を閉会いたします。

どうもご苦労様でございました。

(午前10時11分 閉会)